



▲来客者に和太鼓の壮大な演奏を披露

道の駅「京都新光悦村」が、今年で末広がりとなる「八」周年を迎え、感謝祭を開催されました。2日目の7月18日には通常の販売ブースのほかに特売コーナーを設置され、地元産の野菜やお米などを格安で販売。市内外から来られたお客さんで、開店前から長蛇の列ができていました。また、和太鼓サークルの演奏が花を添えたほか、ものづくり体験コーナー、米粉を使った親子クッキング教室、カラオケ大会などが催されました。

7/17・18 道の駅「京都新光悦村」オープン8周年記念感謝祭

「新鮮野菜求め開店前から長蛇の列」

「お盆の美山川で楽しいひとときを」

美山町自然文化村で鮎まつりが開催され、市内外からの家族連れなどおよそ3000人でにぎわいました。鮎のつかみどりでは、子どもも大人も網を片手に生きの良い鮎を追いかけました。捕られた鮎はその場で塩焼きにして提供もされ、参加者は清流に放たれた鮎の味に舌鼓を打っていました。夕方からは、東映剣会によるチャンバラショーや花火などが行われ、過ぎ行く夏の夜のひとときを楽しみました。



▲元気な鮎を捕らえる子どもたち

8/15 第28回清流美山の鮎まつり

「梅雨明けの清流に鮎をもとめて」

7/9 平成23年度美山漁協組合員友釣り競技大会



▲釣り上げた鮎をタモに取り込む出場選手

美山町平屋地内の由良川で美山漁協による組合員友釣り競技大会が開催され、3人1組の10チーム30人が参加。きらめく水面に竿を立てました。釣り上げた鮎の匹数の合計で勝敗が決まり、今年は40匹を釣り上げた知井Bチーム（大牧祥一さん、勝山幸彦さん、中野喜友さん）が優勝されました。なお、勝山さんは16匹で個人優勝にも輝かれました。大物賞は、20.5cmの鮎を釣り上げた北川弘美さん（宮島Bチーム）でした。この日釣られた鮎は、美山町内の福祉施設に寄附されました。

「森が元気になるればみんな元気になる」

7/18 第2回筏森山モデルフォレスト活動

株式会社虎屋京都工場が、2回目となるモデルフォレスト活動を、隣接する筏森山で実施されました。社員37人や八木町南北広瀬生産森林組合および八木町森林組合の組合員11人などが参加し、雑木の伐採や伐採された枝葉の撤去作業を行いました。この日は、前日までとうって変わって朝から雲が低く垂れ込め、1時間後には本降りとなる天候でしたが、参加者全員ずぶ濡れになりながらも、大切な森を支える活動に取り組みました。



▲雨の中大切な森を支える活動を実施